

## 子供企画型 レポート

### 防災について考えよう！

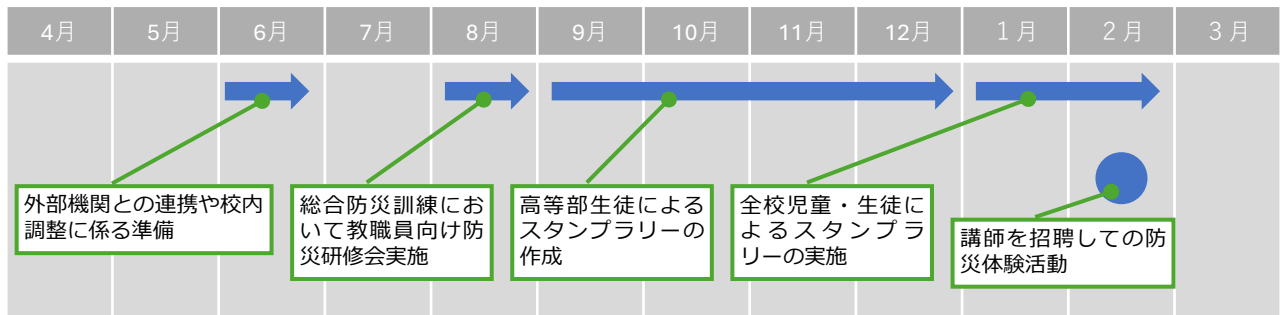
～地域と私たちができること～

東京都立墨東特別支援学校

教育計画上の  
のねらい

- 1 地域と連携した防災訓練や体験活動の実施に当たり、児童・生徒の主体的な意見をくみ取り、学習活動に反映させることで、特別支援学校における一層の防災教育充実と児童・生徒、教職員のさらなる防災意識の向上を図る。
- 2 特別支援学校においては、学習活動の成果を児童・生徒にとって分かりやすい形で提示することが重要である。そのため、芸術活動やICTを活用した取組と関連付けながら、体験活動を展開していく。

児童・生徒の企画内容  
年間スケジュール



### 児童・生徒の声



企画に関わった  
児童・生徒

「クイズを作る中で、自分の知らなかった防災知識を知ることができた。」  
「学校内の防災用品や防災施設がこんなにあったことに驚いた」  
「小学部の友達が楽しそうにクイズに参加していて嬉しくなった。」

参加した  
児童・生徒

「体験活動で、学校にたくさん防災グッズがあることを知った。」  
「クイズが楽しかった。自分も作ってみたい」  
「次の避難訓練からは、静かに移動するを頑張りたいです。」

### 取組・実践



防災スタンプラリー

全校児童・生徒が参加できる防災スタンプラリーを行いました。校内の防災設備付近にQRコードを設置。タブレット端末等で読み取ると防災クイズが出題されます。正解するとシールをGET！6枚集めると校長先生から防災マスターの表彰状がもらえます。クイズやQRコードの作成、HPのレイアウトは高等部の生徒が情報の授業で制作。生徒会役員がQRコードの設置を行いました。



防災体験活動（教職員）

夏季休業期間に実施した教職員による「総合防災訓練」では、児童・生徒の体験活動に先駆け、教職員が地域の防災機関等と連携した体験活動を行いました。防災に関する講習会、防災ゲームの体験、起震車や煙ハウス、構内の防災用品体験など、児童・生徒の安全を守る教職員が実際に体験することで、より安全な避難方法や児童・生徒との関わり方、日頃の心構えなどを再確認できる貴重な機会となりました。



防災体験活動（児童・生徒）

江東区にオフィスがある「NPO法人 プラス・アーツ」様を講師として招き、防災体験活動を行いました。紙芝居を活用したプログラムでは簡単なクイズに答えながら、災害を身近に感じることができました。毛布担架の体験では、物品が十分にそろわない場合でも、様々なものを活用することで、減災につながることを学びました。「自助・共助・公助」を学ぶことで、防災意識の向上につながりました。

成果

- スタンプラリーや防災体験活動を通して、災害を身近なものとして捉えることができるようになり、児童・生徒の防災意識の向上につながった。また、授業内でクイズを作成したり、掲示物やホームページのデザインを考える活動を通して、子どもたちが伝えたいことを形として表現することができた。
- 体験的な学習活動を通して、児童・生徒が積極的に活動に取り組む姿が一層見られるようになった。さらに、学校や地域だけでなく、家庭においても防災について考える良い機会となった。